

番号		該当市町村	定例会	月日	答弁
1	1	上尾市	H28. 6	6月13日	上尾市の酪農家では搾乳器具の装着から搾乳までを自動で行い、牛の乳量や乳質を記録する搾乳ロボットを導入し省力化するとともに、乳房炎などの早期発見にも活用しています。
2	2	上尾市	H28. 6	6月16日	上尾市の農業法人ではハウレンソウの収穫機を導入し、三十ヘクタールの生産拡大を図りました。
3	3	上尾市	H28. 12	12月13日	上尾市では、コミュニティバスの路線再編やバスロケーションシステム導入などの取組を始めました。
4	4	上尾市 草加市	H29. 2	2月28日	上尾市と草加市では、野良猫の不妊・去勢手術に特化した独自の助成制度を創設していただいております。
5		朝霞市	H28. 12	12月8日	朝霞市では実践的な研修として、本年十月に八十五人の認知症サポーターが参加し、屋外で認知症の方に対する声掛けの模擬訓練を実施いたしました。
6		入間市 越生町	H28. 6	6月14日	入間市の茶生産者と越生町のユズ生産者の狭山茶とユズを活用した「ゆず入りさやま茶」が誕生いたしました。
7	1	小鹿野町	H27. 9	10月5日	高齢化が進んでいる小鹿野町は、一人当たりの後期高齢者医療費が県内で最も低い水準です。
8	2	小鹿野町	H28. 6	6月13日	小鹿野町の酪農家では牛の歩数を自動で測定するシステムを導入し、運動量の変化を発情の確認に活用しています。

9		小川町	H27. 6	7月2日	小川町には、他県から移住された方が自ら生産した麦などを原料にビールを醸造・販売する工房を立ち上げ、県内外から多くのお客様が訪れるようになった取組がございます。
10		桶川市	H27. 9	10月1日	水位や雨量、県道の橋に設置した監視カメラの映像・・・九月の台風十八号の増水時には、桶川市がこの情報を活用し、市内の学校に対する注意喚起などを行ったようです。
11	1	春日部市	H28. 12	12月8日	春日部市の在来大豆生産者と県内加工業者をつなげて開発した大豆のコロッケを市内飲食店での活用を働き掛け、十三店舗で取り扱いをしていただくなどにより、県産農産物の活用を推進してきております。
12	2	春日部市 飯能市	H28. 2 予算委員会	3月14日	春日部市では海外でも人気の高い「クレヨンしんちゃん」、またそれから飯能には今度はムーミンのテーマパーク
13	1	加須市	H27. 6	6月26日	加須市では、健診受診や健康講座に参加することでポイントをためて地域商品券と交換できる、かぞ健康マイレージを平成二十六年度から実施をしております。
14	同じ？	加須市	H27. 6	7月1日	加須市では、引き続き筋力アップトレーニング事業を継続するとともに、運動教室の卒業生が地域のリーダーとなり、自主グループの活動の輪が広がっております。
15	2	加須市	H28. 6	6月14日	県が派遣したデザインの専門家の支援を受け、加須市の養蜂業者が蜂蜜のパッケージに武州正藍染を使用し、高級感のある贈答品として商品化いたしました。
16	1	川口市	H29. 2 予算委員会	3月15日	川口市さんのほうで、こういう夜間学級を設置する方向で検討するということが発表されました

17	2	川口市	H28. 9	9月29日	川口市の六十五歳で二十五本の歯を保つという取組は、健康寿命の延伸に向けて独自性があり、また、八〇二〇運動を推進する上でも効果的なものと考えます。
18	3	川口市 朝霞市	H28. 6	6月14日	川口市や朝霞市などでは、総合防災訓練や町内会の訓練などで簡易トイレや仮設トイレの組立訓練を行っていると同っています。
19	4	川口市 草加市	H27. 12	12月8日	平成二十六年六月から川口市と草加市に、本年六月から川越市に、全国に先駆けて発達障害に特化した就労支援センターを設置しております。
20	1	川越市	H27. 12	12月9日	川越市のいもっこ体操のように歩いて通える場所で高齢者が主体的に運営する体操教室は、介護予防はもとより、生きがいつくりや地域でのつながりを深める効果があります。
21	2	川越市	H29. 2 予算委員会	3月14日	この事業をやったことをきっかけに、川越市の百貨店からオファーがございまして、具体的にはお歳暮用のギフトカタログに、是非この農業版ウーマノミクスで活躍されている女性の商品をカタログの中に入れて、お歳暮の商品として売りたいというお話がございまして
22	3	川越市	H29. 6	6月23日	小江戸・川越を訪れる外国人観光客の受入環境強化のため、民間事業者が川越市などとタイアップして無料Wi-Fiを設置し、情報発信などの取組を行っております。
23		北本市	H28. 9	9月29日	北本市では「中学生学力アップ教室」に加え、小学生が参加する「土曜日の教育支援」においてプリント学習や個別指導などの学習支援を行っております。
24	1	久喜市 熊谷市 秩父市	H28. 12	12月13日	久喜市鷲宮の「らき☆すた」や熊谷市妻沼の「ブルーサーマル」、秩父市の「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」など、本県にはアニメや漫画作品の舞台地が数多くあります。

25	2	久喜市 越谷市	H27. 6	6月26日	公営ポスター掲示板にQRコードを表示する取組については、県内では久喜市選挙管理委員会が昨年四月の市長、市議の同日選で実施したのが最初の例と承知しております。越谷市の取組は、更に職員のアイデアを採用して、期日前投票の案内も追加をしたものであります。
26	1	熊谷市	H27. 12	12月10日	ラグビーワールドカップ・・・本年の三月に熊谷市が国内で十二ある開催都市の一つに決定をしたところです。
27	2	熊谷市	H29. 6	6月29日	地域の皆さんが保存のための団体を組織して、維持管理をしている熊谷市の甲山古墳のような事例もございます。
28	1	鴻巣市	H27. 9	9月30日	本県は、全国第五位の花き産出額を誇る産地であり、特に花壇用苗物や鉢花など、鴻巣市を中心に全県下で生産が盛んでございます。

29	2	鴻巣市	H28. 2 予算委員会	3月11日	鴻巣市のほうでは、今、官民一体となりまして、餌場として重要な無農薬の田んぼづくりなどに取り組んでおります。これに対しまして県のほうでは、鴻巣市などが事務局となって、将来のコウノトリの野生復帰に向けた検討を行っております「荒川流域コウノトリ地域づくり連絡会議」に参加をしております。その中で田んぼの冬水確保や生息環境づくりについて、うちの専門の職員を派遣してアドバイスをしているというようなことが中心になっております。
30	1	越谷市	H28. 12	12月13日	越谷市では、現在は路線バスを利用しづらい地域において路線新設を図ることとしております。
31	2	越谷市 八潮市	H29. 2	3月1日	越谷市には、生産緑地を活用し、イチゴ狩りが楽しめる観光農園があり、多くの来場者でにぎわっています。また、八潮市などでは生産緑地において施設によるコマツナの周年栽培により、高収益を上げている農業者もおります。
32	1	さいたま市	H28. 6	6月16日	さいたま市の生産組織ではコマツナの予冷庫を整備し、鮮度を高めることで夏の暑い時期を中心とした品質向上を図っています。
33	1	幸手市	H27. 9	10月2日	平成元年十一月一日に、県内初の女性消防団員が幸手市に誕生
34	2	幸手市	H27. 12	12月10日	十二月一日にNHKの「クローズアップ現代」で、元気な高齢者がちょっとした困り事を抱えた高齢者を助ける幸手市の「幸せ手伝い隊」の活動が紹介されたところです。
35		狭山市	H28. 12	12月8日	狭山市では海外経験のあるシニアが英語を教えるなど、放課後の児童の居場所づくりとして学習教室を開設しています。
36	1	志木市	H29. 2	2月24日	平成二十七年度に一千人規模の「とことんモデル」に取り組んだ志木市では、一人当たり年間約三万円の医療費抑制効果があるとされております。

37	2	志木市	H29. 2	2月27日	健康長寿埼玉プロジェクトでは、「毎日一万歩運動」や「筋力アップトレーニング」による健康づくりを広めています。一千人規模で実施している志木市などでは、医療費の抑制について具体的な成果を上げています。
38	同じ？	志木市	H29. 2 予算委員会	3月21日	とことんモデルの志木市では、健康寿命のばしマッスルプロジェクトという形で1,016人が参加しておりますが、健康ポイント制度を導入し、ウォーキングや筋力アップトレーニングなどを実施しております
39	3	志木市 三芳町	H27. 9	9月30日	健康長寿埼玉プロジェクト・・中でも、とことんモデルの志木市と三芳町では、それぞれの参加者が一千人を超える大規模モデルを追求しています。
40		草加市	H28. 2	2月26日	草加市で商店街の空き店舗にある子育て支援拠点で、シルバー人材センターの会員が子供の遊び相手となり、親の相談にも応じておられます。
41		秩父郡市 児玉郡市	H27. 12	12月11日	秩父郡市や児玉郡市のように関係市町の首長や議員が参加した広域市町村圏組合により、共同で事務を進めるとともに、定住自立圏として連携して取組をしている例もございます。
42		秩父市	H27. 12	12月10日	秩父市のみやのかわ商店街で始まった「地域支え合いの仕組み」は、マスメディアでも数多く取り上げられて、県内各地はもとより、全国的にも拡大しております
43	1	鶴ヶ島市 朝霞市	H28. 2 予算委員会	3月9日	シニアの皆様の地域活動の参加に取り組むことにつきまして、先進的な事例でありますけれども、鶴ヶ島市で、地域デビューきっかけ広場という事業をやっていたり、あるいは朝霞市でシニア世代地域デビュー支援塾、こういった取組が実施、実行されております。

44	同一	鶴ヶ島市 朝霞市	H28. 2 予算委員会	3月10日	シニアの皆様の地域活動の参加に取り組むことにつきまして、先進的な事例でありますけれども、鶴ヶ島市で、地域デビューきっかけ広場という事業をやっていたり、あるいは朝霞市でシニア世代地域デビュー支援塾、こういった取組が実施、実行されております。
45		ときがわ町	H28. 2 予算委員会	3月9日	ときがわ町のほうで今進めておりますハブ&スポークの取組で、バス事業を再編したことにより利用者数も増えるなど、一つ需要喚起になってございます。
46		所沢市	H29. 2	2月27日	所沢市の地域公共交通会議では、本年一月に地域公共交通の方向性についての協議結果を答申として公表しました。答申では、コミュニティバスのルートのコンパクト化や路線バスとの重複の解消、デマンド交通の導入検討などの方針が示されています。
47		所沢市 飯能市 狭山市 入間市	H27. 12	12月11日	所沢市、飯能市、狭山市、入間市で構成される西部地域まちづくり協議会、(通称)ダイアプランなど、市町村レベルで集まって地域の共通課題を議論する場もございます。
48		戸田市	H29. 2	2月28日	この取組には、家でも学校でもない「第三の居場所づくり」として、モデル的に全国で百か所の拠点を設置することが盛り込まれております。この第一号の拠点が、昨年十一月に戸田市に開設されました。
49		長瀬町	H28. 12	12月8日	長瀬町では、地域で孤立しがちな高齢者の方に集まっていただき、健康体操やカラオケなどのレクリエーションを行う取組も始まっております。
50		新座市	H27. 6	6月29日	新座市におきましては、特産でございますニンジンの暑い時期の発芽率向上対策や、体験農園開設の際の作付計画や利用規程の作成支援などを行っております。
51		蓮田市	H28. 2	3月2日	蓮田市の果樹農家では規格外のキウイフルーツを使ったシロップ漬けを開発し、ギフトの人気商品となっております。

52		鳩山町	H28. 12	12月8日	鳩山町では認知症の方の話し相手となれるよう相手の気持ちに寄り添い、共感的に聴く技法を学ぶ傾聴ボランティア講座を実施しております。
53	1	羽生市	H29. 2 予算委員会	3月21日	羽生市の企業ですけれども、3年前に打ち上げられた小惑星探査機はやぶさ2号の部品としてチタン合金製ボルトも提供しております。
54	2	羽生市	H27. 12	12月10日	羽生市の発戸地区では、四十二ヘクタールのうち三十八ヘクタールを担い手である四経営体に集めるとともに、埼玉型ほ場整備により地区内の農地の大区画化に取り組んでいます。
55	1	飯能市	H27. 9	10月2日	ムーミンの世界を体験できる施設「メツァ」・飯能市の熱心な誘致活動や西武鉄道の協力により、誘致に成功したことは快挙であり、大変喜ばしいことです。
56	2	飯能市 神川町	H28. 2 予算委員会	3月16日	土砂災害を想定した避難訓練は9市町で行われました。ハザードマップを活用して、避難訓練や避難所の確認を行っておりまして、飯能市とか神川町では、実際に福祉施設と連携をした避難訓練をしたというような事例もございます。
57	3	飯能市 秩父市	H28. 12	12月8日	飯能市の製材工場が原材料を供給し、民間企業が開発した木質断熱材があり、県ではこの断熱材を県産木材を使用した住宅の補助事業の対象として認定し、利用の促進を図っております。さらに、県では秩父市の製材業者と木工業者が連携した木のおもちゃの開発を支援し、秩父市では、このおもちゃを平成二十七年度から新生児への贈り物としています。
58		東秩父村	H29. 2	2月27日	東秩父村では計画策定後、すぐに「和紙の里」をハブとしたバス路線の再編を実施しました。また、この再編と一体として県のふるさと創造資金を活用した「和紙の里」の施設改修のほか、農産物直売所の整備を行いました。

59	1	東松山市	H27. 6	7月1日	東松山市では市と協力して駅前商店街などに設置した太陽光発電の売電益を活用し、市民が省エネを行うと地域通貨に交換できるエコポイント制度を作りました。市と連携してこの仕組みを広く市民に利用してもらうことでエコタウンを市全域に浸透させ、省エネ行動を促してまいります。
60	1	東松山市	H27. 6	7月1日	東松山市では、ウォーキングでの歩数を健康ポイントに活用できる東松山市ECO・PO事業をスタートさせ、ウォーキングの継続的な取組を支援しております。
61	1	深谷市	H28. 12	12月13日	深谷市の農家では、新技術の養液イチゴ栽培を導入し、観光イチゴ園として経営を発展させたことにより、他産業に従事していた子弟が平成二十七年に就農しています。
62	2	深谷市	H29. 6	6月26日	深谷市の旧岡部町地域のスイートコーンやブロッコリーは、養蚕からの転換作物として昭和六十年頃から普及指導員が導入を支援し、今や県内有数の産地となっており、ブランド化しています。
63	3	深谷市 本庄市 川口市	H27. 9	10月2日	コバトン、さいたまっちのほか、投票ランキングの上位の「ふっかちゃん」、本庄市の「はにぽん」、川口市の「きゅぽらん」を取り上げまして、幅広く投票を呼び掛けております。
64	4	深谷市 宮代町	H29. 6	6月27日	深谷市や宮代町では、夏休みに地元の工業系大学と連携して、プログラミング講座を小学生対象に開催するなどの取組が行われております。
65		ふじみ野市	H27. 12	12月9日	ふじみ野市が実施した就職支度金については、国の平成二十八年度概算要求に同様の事業が盛り込まれて検討が行われております。
66		本庄市	H27. 6	7月1日	本庄市では、安価で安心な太陽光設置工事を行っている地元三事業者の「エコタウン応援隊」など、これまでプロジェクトの推進に御協力をいただいた事業者と今後も連携して住民の取組を支援します。

67		美里町	H27. 6	6月30日	分散していた担い手の農地と新たに貸出しの希望のあった農地を機構が一括して借り受け、担い手に再配分することにより団地化した美里町の取組など、全国的に注目されている先進的な事例
68		宮代町	H28. 12	12月8日	宮代町では民家でこれまで活用されていなかった渋柿を「干し柿」に加工して地域の特産品として売り出す
69	1	三芳町	H27. 12	12月8日	県では、三富新田世界農業遺産推進協議会に参加し、三芳町が進める世界農業遺産登録に向けた取組を支援してまいりました。
70	2	三芳町	H29. 6	6月23日	三芳町などで災害発生時に電話がつながりにくくなることから、無料でWi-Fiが使用できるよう総務省の補助事業を活用し、避難場所を防災情報ステーションとして整備をしております。
71		毛呂山町	H27. 6	6月26日	国のモデル事業として、毛呂山町で高齢者自らが運営に携わる介護予防事業を実施しました。
72		横瀬町	H27. 9	9月30日	横瀬町観光・産業振興協会が「謎解き婚活!! in あしがくぼ笑楽校」を実施しました。
73	1	寄居町	H28. 2	2月26日	成功事例としては、先日報道発表がありましたが、寄居町とブータン王国との間で事前キャンプを前提にした交流事業について大枠の合意があったところです。
74	2	寄居町	H28. 12	12月8日	寄居町ではシニアが地域に出るきっかけとなる交流の場を開設

75	1	和光市	H28. 2 予算委員会	3月9日	要介護の方を要介護認定率を減らしていくということであれば、本県におきましては和光市の取組など既に先進的なものもございます。
76	2	和光市	H28. 9	10月5日	和光市で重度の介護者は一般的にますます重度になるということですが、それが軽度になっていくという大変全国的にもまれな事例があります。
77	3	和光市	H28. 12	12月8日	平成二十年に、本県と理化学研究所、和光市等が共同で「和光理研インキュベーションプラザ」を開設し、これまで二十七社のベンチャー企業を支援しており、画期的な創薬技術を開発した一社が上場をいたしました。
78	1と同じ	和光市	H27. 9	9月30日	和光市では、介護予防や自立支援の意識を徹底することで要介護認定率を下げるということが成果として上がっております。
79	5	和光市	H28. 12	12月8日	和光市では親子と一緒に遊ぶことができる施設でネウボラを実施しており、妊娠期から子育て期まで継続した利用が可能になっております。また、出生児約二百名に対し一か所ネウボラを設置することで、妊産婦一人一人の実情を把握することが可能になっています。
80	6	和光市	H28. 12	12月9日	自立支援では、和光市の取組を参考に、六月から理学療法士や薬剤師などの専門職で構成される自立支援チームを県がモデル市町に派遣をしております。
81	7	和光市	H29. 2 予算委員会	3月21日	和光市が非常に先行して介護予防や生活支援を丁寧に行っています
82	8	和光市	H29. 6	6月27日	和光市では、介護保険事業計画の策定に合わせて行うニーズ調査において、六十五歳以上の高齢者全員を対象に、一人一人の状態の把握をしております。

83	9	和光市 川越市	H29. 2	2月24日	事故が繰り返されないためには、ホームドアの設置が最も効果が大 きいと考えます。県では平成二十五年度にモデル事業を創設し、東 武東上線の和光市駅と川越駅での設置を進めてまいりました。
84	10	和光市 行田市	H28. 2	2月25日	子育て世代包括支援センター事業に取り組む県内自治体は来年度 どのくらい増えるかについてでございますが、現在は和光と行田の 二市でございますが、
85		蕨市	H28. 12	12月8日	蕨市ではシニアと活動団体の橋渡し役となるナビゲーターを配置す るなど特色ある事業に取り組んで